

ご協力ありがとうございました。（学校評価アンケートより）

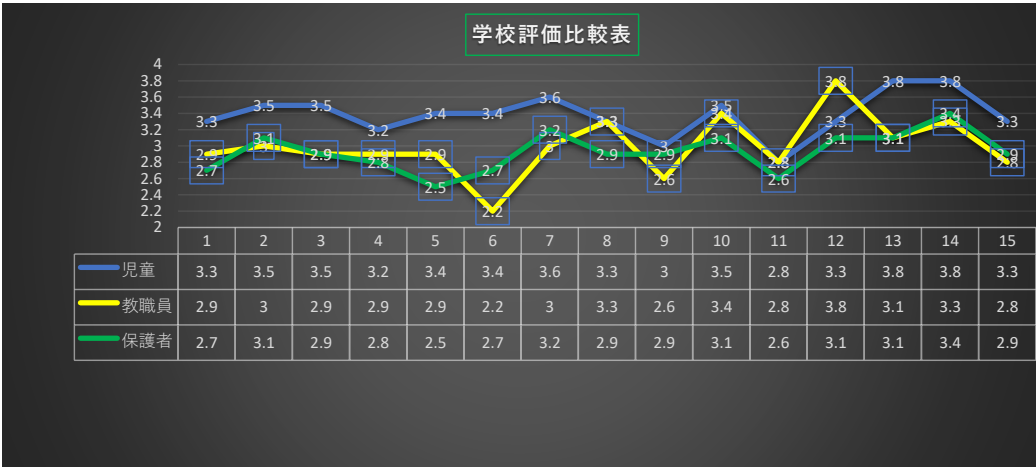
令和8年1月23日

子どもたちは自分の学校や家庭での生活を振り返って、保護者のみなさまにはお子さんの様子から、それぞれアンケートに答えていただきました。
教職員も同様に評価を行っていますので、同じ項目についての数値を比較して考察してみました。

古丹別小学校 児童・教職員・保護者学校評価 比較考察

		児童	教職員	保護者
確かな学力	1 学校や家での学習に、前向きに取り組んでいる。	3.3	2.9	2.7
	2 友達や先生に話したり聞いたりして、学び合うことができている。	3.5	3	3.1
	3 学校や家での学習では、できるだけ自分で考えて取り組もうとしている。	3.5	2.9	2.9
	4 学習道具や姿勢を整え、学習のきまりを守り、学習に取り組んでいる。	3.2	2.9	2.8
	5 学校や家での学習は、自分の生活や将来に役立っていると感じる。	3.4	2.9	2.5
豊かな心	6 友達や先生・地域の人に、進んで挨拶をしている。	3.4	2.2	2.7
	7 グループでの活動では、友達と話し合い、協力して取り組んでいる。	3.6	3	3.2
	8 自分が悪いことをしたときは、素直にあやまることができる。	3.3	3.3	2.9
	9 友達や周りの人の気持ちを考えて、発言や行動に気を付けている。	3	2.6	2.9
	10 遊んだり、困ったときに相談したりできる人がいる。	3.5	3.4	3.1
健やかな体	11 「早ね・早起き・朝ごはん」に心がけて生活している。	2.8	2.8	2.6
	12 ほとんど毎日、体育館や外で、自分から進んで運動をしている。	3.3	3.8	3.1
	13 うがいや手洗い、歯みがきを忘れずにしている。	3.8	3.1	3.1
	14 交通ルールを守り安全に注意し、登下校したり自転車に乗ったりしている。	3.8	3.3	3.4
	15 難しいことや苦しいことでも、あきらめずやりとげようとする。	3.3	2.8	2.9

■高い ■やや高い □平均値 ■やや低い ■低い



- 児童評価が高い項目：②③⑦⑩⑬⑭ 低い項目：なし
- 教職員評価が高い項目：⑫ 低い項目：⑥
- 保護者評価が高い項目： 低い項目：なし
- 児童評価と教職員評価の差の最大値1.2：⑥
- 児童評価と保護者評価の差の最大値0.9：⑤
- 教職員評価と保護者評価の差の最大値0.7：⑫
- 各評価の最大値と最小値の差 児童1.0 教職員1.6 保護者0.8

考察

- ・昨年度に比べて児童・保護者評価は若干下降している項目が多い。逆に教職員評価は若干上昇しているものが多い。また、教職員と保護者評価は、数値の差が最大で0.7と昨年度より評価の数値に近い項目が増えている。教職員と保護者が日常情報を共有し、様々な観点から子どもたちの成長を促すために価値観を同じくしていることの表れではないかと思われる。
- ・児童評価の数値差は昨年度より大きくなっているが、ほぼ全てが高い評価となっている。児童は学校生活を全体として捉え、自己評価を高くもつことができていると判断できる。
- ・教職員の数値は差が大きいものの全体としては狭まっている。目指す児童像の実現に向け、教職員が指導の工夫や関わり方の改善に努めるとともに、児童自身も自ら考え行動しようとする姿が増えてきており、その結果、全体として児童の姿に向上が見られるようになったからではないかと考えられる。
- ・教職員による挨拶の評価については特に低い数値となっている。これまでの取組が十分に成果として表れていない状況が見られることから、学校として大きな課題と受け止めている。家庭や地域とも連携しながら、改善に努めていく必要がある。
- ・評価の数値が下がった項目については、学校としての課題を示す大切な指標と捉え、結果を真摯に受け止め、改善策を共有しながら教育活動の充実を図っていく必要がある。

こちらは保護者のみなさまにのみ答えていただいた内容になります。それぞれの数値について考察しています。

古丹別小学校 保護者学校評価(保護者のみの内容)

内容		1	2	3	4	合計	平均	肯定回	否定回	前年度	比較
その他	① 1日平均で、学年×10+10分以上、家庭学習や宿題をしている。	3	7	15	11	48	2.94	72.2%	27.8%	2.4	0.54
	② 家や学校で1日に10分以上読書をしている。	18	9	6	3	55	1.83	25.0%	75.0%	2.75	-0.9
	③ 1日にテレビを見たりゲームをしたりする時間は3時間より少ない。	9	12	7	8	50	2.39	41.7%	58.3%	2.5	-0.1
	④ 学校での出来事などをよく話してくれる。	3	9	12	12	42	2.92	66.7%	33.3%	2.1	0.82
学校の取組	⑤ 学校は、児童に生命を大切にす心や社会のルールを守るよう指導することに努めている。	1	4	9	21	70	3.43	85.7%	13.9%	3.5	-0.1
	⑥ 学校は、縦割り活動などを通して、お互いを思いやり、協力し合う態度が身につくよう、指導することに努めている。		1	15	19	68	3.51	97.1%	2.9%	3.4	0.11
	⑦ 学校は、一人一人の児童に目を配り、問題が発生した場合は迅速かつ適切に対応している。		4	16	15	59	3.31	88.6%	11.4%	2.95	0.36
	⑧ 学校は、児童一人一人に楽しく分かる学習ができるよう努めている。	1	1	20	13	61	3.29	94.3%	5.7%	3.05	0.24
	⑨ 学校は、基礎・基本の確実な定着を図るため、家庭学習の習慣化を図る指導に努めている。	2		12	21	65	3.49	94.3%	5.7%	3.25	0.24
	⑩ 学校は、図書室の整備や読み聞かせなど、読書活動の充実に向けた取組を行っている。		4	14	17	67	3.37	88.6%	11.4%	3.35	0.02
	⑪ 学校は、児童が健康で安全な生活が送れるように、病気やけがの予防や交通安全などについて指導することに努めている。		1	11	23	72	3.63	97.1%	2.9%	3.6	0.03
	⑫ 学校は、授業参観や各種行事など保護者や地域の方が参加しやすいように計画している。		3	7	25	71	3.63	91.4%	8.6%	3.55	0.08
	⑬ 学校は、教育方針や教育活動、学校の出来事について懇談や各種便り・メール等で保護者にわかりやすく知らせている。			6	30	69	3.83	100.0%	0.0%	3.45	0.38
	⑭ 学校は、学習や健康、学校生活などの保護者の相談に耳を傾け、適切に対処している。		3	12	20	65	3.49	91.4%	8.6%	3.25	0.24

■高い ■やや高い □平均値 ■やや低い ■低い

その他(記述式)

参観日を見ていて3.4年生の複式での学習が先生がいない時に何もしていないように感じてしまう。わからない事をすぐ確認できないのは勿体無いなど感じる

→複式学級では、先生が別の学年を指導している間の隙間の時間に、リーダーが友達をまとめます。隙間の時間をどう使うかを考えながら行動する必要がある、簡単なことではありませんが、少しずつ工夫しながら役割を果たしています。その積み重ねが、高学年に向けての考えて動く力や責任感につながっていると捉えています。

アンケートの結果を生かして、今年度、そして次年度の改善に向けた手立てを考えていきます。御協力ありがとうございました。

考察

①昨年度比+0.54
家庭学習に関しては、宿題と自主的な取組をした時間の合計と考えている。小学校では全学年で同程度の宿題に要する時間のものと押さえているので、学年が上がるほど自主的な取組が必要となる。昨年度より児童の自主的なよい取組の紹介を行っていることが、大きく向上した結果につながったものと考えられる。

④昨年度比+0.82
学校での出来事については、児童・保護者ともに忙しい日々の生活でなかなかゆっくり時間がとれない方も多いと思われる中、できる限りお子さんとの会話を進めていただいたことが、大きく向上した結果につながったものと考えられる。

⑦昨年度比+0.36
教職員が共通認識のもとに一人一人への対応を行ってきたことが大きく向上した結果につながったものと考えられる。

②昨年度比-0.90
読書の習慣について大きく数値の低下する結果となった。学校でのボランティアの方の読み聞かせのように教職員だけでなく保護者にも一緒に本を読む活動などを取り入れていただいているところである。児童が読書への関心を高める環境設備など、学校と家庭の双方で取り組める改善のための方法を考えていきたい。

・たくさんの項目で「高い」「やや高い」数値となっている。本校の教育活動への御理解をいただいていると思われるが、一方で改善を図っていかねばならない項目も多数ある。今後も保護者や地域との対話を取り入れながら、児童の健やかな成長を促すために、教職員一丸となって取り組んでいきたい。

・今後も児童間の交友関係上でのトラブルに関しては、それを未然に防ぐための予防的な指導を重視して進めていく。また、それでもトラブルが起きた際には児童の思いをよく聞きとった上で、教職員がそれぞれの児童の考えを理解し合うための貴重な機会と捉え、関係した児童の成長につながるように、保護者との連絡を密にしながらトラブルを解決できるよう対応に当たっていききたい。